

情 報 公 開 文 書

研究の名称	周術期口腔機能管理に関する多機関共同後ろ向き観察
受付番号	397
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 歯科口腔外科 部長 石戸克尚
研究の概要	【研究対象者】 2021年4月1日～2026年3月31日に当院および各研究施設で周術期口腔機能管理のため受診した患者。 【研究の目的】 周術期口腔機能管理は2012年に保険収載された。その背景として周術期における口腔衛生管理のエビデンスが示されてきたことが挙げられ、肺癌患者において呼吸器リハビリテーションや禁煙とともに、術前の専門的口腔清掃や歯磨き、舌の清掃が術後肺炎の発症を予防するという報告や、口腔衛生管理の介入による気管内細菌数および検出菌種の減少や術後肺炎の頻度の減少とともに術後の経口摂取中断期間と術後在院期間の短縮が報告されている。さらには食道癌手術症例による後ろ向き研究で、解析により術後肺炎の発症の予防に周術期口腔機能管理が有効であることが示されているなど、これまでに数多くの報告がなされている。しかしながらこれまでの報告は単施設での報告が多く、症例数も十分とは言えない場合が多いため、エビデンスレベルが高い報告は少ない。さらには口腔衛生状態と術後合併症の関連を検討した多施設共同研究はなく、大規模なものは少ない。 そこで本研究では、多施設共同研究による後ろ向き観察研究により、周術期口腔機能管理の実態を把握し、検討することによりよい治療戦略を考案することを目的とする。 【研究方法】 後方視的観察研究 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払う。 【研究期間】 倫理委員会承認後～2027年3月31日 【研究結果の公表の方法】 日本口腔ケア学会（2027年4月）公表予定。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	主要評価項目：口腔ケアの内容、術後肺炎の有無、術後創部感染の有無、有害事象発生率、歯周炎の重症度 副次評価項目：口腔清掃状態の評価、手術時間、術前化学療法の有無 測定方法：有害事象との関連を多変量解析により統計ソフトで解析
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 歯科口腔外科部長 石戸克尚

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担 当 者 富山赤十字病院 歯科口腔外科 石戸克尚 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14 時～16 時
---------------------------------	--